

授業改善等に関する報告書（2020年度前期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（前期）短大図書館学課程] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報資源組織法 1	橋詰 秋子	この科目は、図書館学課程の他の科目と比べて難しい内容を扱っていますが、アンケートによると理解度81.2%と他に比べて高い数値となりました。後期も前期と同様に、わかりやすい説明となるように工夫して進めたいと思います。
図書館情報資源概論	橋詰 秋子	この科目では、説明レジュメで解説した上で、さらにその内容の理解を深めるために読書課題を3回行いました。アンケートでは「読書課題は大変だったが学んだ知識を応用できて理解が深まった」とコメントがあり、嬉しく思いました。また、この科目については、繰り返し読み返せる説明レジュメによるオンデマンド授業が好評でした。
図書館概論	橋詰 秋子	この科目は、図書館学課程の入門科目です。教科書の精読とその確認のための教科書問題への回答、さらに重要事項の説明レジュメとアクションペーパーの執筆を組み合わせ、受講生にとっては負荷の多い授業法を採用したため、受講生は大変だったのではないかと思います。アンケートをみると、理解度の平均が82.9%と高く、丁寧な学習の成果が表れていると思います。
図書館サービス概論	橋詰 秋子	本科目は、説明レジュメによる解説とグループワークを組み合わせたオンデマンド授業として進めました。グループワークについては、とても楽しかったという意見とともに、オンデマンドでは大変だった対面がよかったという意見がありました。今後は、グループワークを行う際は対面を基本としたいと考えています。
図書館情報サービス論	橋詰 秋子	この科目は、図書館学課程の他の科目と比べると、アンケートの理解度が低い結果となりました。今年度は当初の制約からオンデマンド授業としましたが、グループワークや質問受付などの必要があり、対面授業がふさわしいことがと分かりました。
図書館情報資源特論	橋詰 秋子	この科目は、デジタルアーカイブとオープンデータに関する演習課題に取り組んでもらいました。学期当初のシステム的な制約から、オンデマンド授業として実施した上に、manabaだけでは十分に演習課題の詳細を指示できなかったため、アンケートでは、説明が分かりにくかったとする受講生の割合が他科目に比べて多くなってしまいました。後期授業では、オンデマンド授業であっても演習課題の説明や質問をZoomで受け付ける機会を設けるなどして、スムーズに受講できるように工夫したいと思います。